

浮島校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成30年8月21日（火）19時～20時40分
場所 浮島公民館
司会・進行 飯尾浮島自治会長
参加者数 男28人 女11人 合計39人



1. 市の重点事業に関する質問

質問（浮島自治会長）

八幡神社から垣生郵便局までの道路については、県道から市道に変更になったと聞いているが、道幅が狭く歩行者にとって非常に危険な状態である。道路拡幅の計画はないのか。

回答（市長）

指摘の道路が狭いという認識はしているが、現在のところ道路拡幅の予定はないと認識している。将来への課題としたい。

質問（浮島自治会長）

現在の新居浜警察署は老朽化が激しいため、建て替え計画はないのか。

回答（市長）

市内にある県の施設として、愛媛県立病院の建て替えを優先して要望したため、新居浜警察署が結果として後回しとなった状態である。今後、県へ建て替えの要望をしていきたい。

2. 連合自治会共通の市政課題「防災について」

質問（浮島連合自治会長）

地震で津波が発生した場合、松の木地区の避難場所としては、高津小学校と愛媛労災病院の2か所しかない。浮島地区は浮島小学校、垣生小学校、近くの賃貸マンションであると認識しているが、市としての見解を聞きたい。

また、高齢者の避難誘導計画については青年団を中心に両地区で検討している。特に災害弱者である独居老人については、自治会での把握が難しいことから、市からの情報提供を受けたいが個人情報保護の観点から協力を得られていない。

回答（市民部長）

地震が発生した場合の避難場所については、津波がない場合は、浮島小学校、浮島公民館、川東高齢者福祉センター、浮島自治会館、松の木自治会館、津波や高潮の可能性がある場合は、浮島小学校の2階以上、浮島公民館の2階となる。南海トラフ地震が発生した場合、新居浜への津波到達時間は3時間から4時間となっていることから、各自で情報を確認して避難してほしい。

浮島校区には避難行動要支援者が81名いる。高齢者や障害者の避難については共助が必要であり、普段からの地域の関係を密にして協力し合って避難してほしい。

個人情報については市から提供できない部分はあるが、その他何でも防災安全課に相談してほしい。

3. 校区課題①課題名（浮島小学校の通学区域について）

質問（浮島連合自治会長）

浮島校区特に松の木自治会では、新居浜市の中でも特に高齢化が進むなか、自治会加入者も減少傾向にある。

そして児童については、松の木町及び宇高四丁目の一部を含めて十数人しか浮島小学校へ通学していない。対して高津小学校へは、松の木町から35～40人近くの児童が通学している。この問題については、平成25年から何度もこの会において教育委員会から回答をいただき、「すでに兄弟が高津小学校へ通学している児童については、高津小学校へ入学許可し、初めて入学する児童については、変更を認めない。」と、いうことだったが、現状は保護者の希望で許可をしていると聞いている。

また、本年、若宮小学校の閉校により、次は5年後に浮島小学校だと市の幹部から話が出ているようだが、校区の変更許可の扱いに加え、今後の浮島小学校のあり方をお聞きしたい。

回答（教育長）

今現在、5年後に浮島小学校が閉校になる議論は全くない。2年前の若宮小学校の統廃

合について議論では、各学年 8 人以下 2 学年で 16 人以下になると複式学級となってしまい教育環境としてはよくない。しかし、地域の方にとっては小学校がなくなると、コミュニティが壊れてしまうという話から始まったと記憶している。

現在、浮島小学校の在校生は 130 名で、松の木から浮島小学校へは 12 名、高津小学校へは 22 名通学している現状はあるが、少なくとも 5 年で複式学級になることは考えられない。

しかしながら、国からは学校の適正規模の話が出ており、1 学年 2 から 3 クラスあるほうが子どもにとって様々な面で望ましいという意見も出ており、今後みなさん議論の必要性を感じている。

また、最近小学校と中学校を統合して義務教育学校という制度も出てきており、今後校舎の建て替えなどの際に議論される可能性もある。

松の木から高津小学校へ通う理由として、兄弟が通っているが 9 名、その他放課後保護監督困難であるという理由が約 10 人であるが、その確認についてはプライバシーの問題もあり困難である。

質問（松の木自治会副会長）

防災についてもコミュニティを深めて対応してほしいという話が出ているが、現在、松の木に住む小学生は、浮島と高津に半々の状態でそれに伴い父兄についても、運動会やお祭りも別々となり地域コミュニティにも支障が出ている。

親としては子どもに、家から通学距離が短い小学校に通ってほしいというのは当然であり、小学校区の変更も今後論議が必要ではないか。

松の木のように同一地域内で 2 つの小学校に別れてしまうことがどれだけ弊害があるかということ、市として認識して高津小学校への編入希望の父兄には十分説明をしてもらいたい。

回答（教育長）

小学校区の線引きについては、発足当時の様々な理由から成り立っているが、現状ではいびつな線引きとなっている部分があるのは事実であるが、新居浜では小学校ごとに公民館を設置して、そのなかでコミュニティも形成されてきた経緯もあり、今後議論が必要である。

若宮小学校の統廃合の議論の中でも、保護者の意見と地域の意見があまりにも乖離していると感じたが、子供の気持ちを優先するのが第一だと思うが、地元を愛する気持ちもわかることから、今後一緒に議論を行いたい。

質問（浮島連合自治会長）

若宮の場合は複数の自治会から成り立っているのですが、若宮公民館が存続できたが、浮島

の場合は2つの自治会しかなく、松の木が高津校区へ編入されると、浮島校区は1つの自治会、1つの公民館となってしまう、それで運営が可能かという話になる。

回答（教育長）

若宮校区も2つの自治会があり類似しており、新田が大きく、磯浦が小さいという違いがあるが、このまま地域のコミュニティを放置すると、自治会加入率も下がるし、実際、浮島の自治会加入率は市平均約60%を若干下回っており、今後地域の中で十分議論していただきたい。

4. その他

質問（浮島自治会副会長）

浮島自治会として毎年3回浮島海岸の清掃を行っているが、7月に発生した西日本豪雨により大量のごみが漂着しており、その量は自治会での清掃の限度を遥かに超えており、自治会から東予地方局へ要望を行ったが、南予地区への対応が優先されるという事で対応が難しいという返事が返っている。是非市長からの働きかけをお願いしたい。

回答（市長）

南予への対応が優先されるため、直ぐにというわけにはいかないかもしれないが、市としても協力して対応したい。